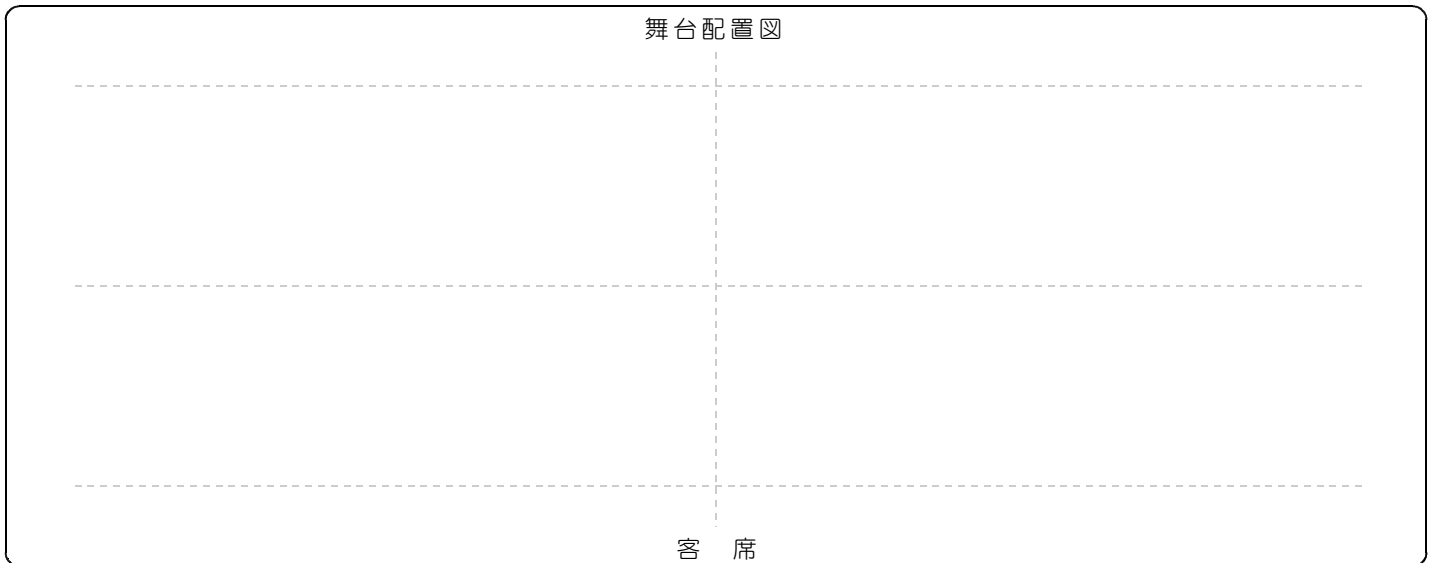


No.	<b>響 (こだま)</b>	演奏者数	演奏時間
-----	----------------	------	------



表示記号一覧	一 箏	= 17絃	+ 三絃	0 尺八	≠ 他楽器	* マイク	□ エコー	□ 毛氈	W 屏風
立奏	立奏台	大 台	小 台	椅子	大 台	小 台	譜面台	台	ハイター 枚
座奏	琴台	台	見台	山台	録音 有：無	録画 有：無	他		
始	緞帳：暗転	板付	毛氈 緋：紺	音響					
終	緞帳：暗転	板付	屏風 金：銀	照明					

調絃表		ピッチ A=44										編成：1箏			2箏			
Part		一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	斗	為	巾				
1 箏					D					D					平調子 一は五の乙			
	F#				C#				F#					F#				
E°	A°	B°	C°	E°	F°	A°	B°	C°	E°	F°	A°	B°						
2 箏									D					D	雲井調子 一は五と同音 (B)			
									C#				F#	C#				
	B	E	F	A°	B°	C°	E°	F°	A°	B°	C°	E°	F#	F				

1 箏の一と 2 箏の二は同音 (E)

編成欄には面数を記入 開始調絃は太字 転調は上下の欄 ハーモニックスは右肩に○

作曲年 1994年 委嘱者 倉内里仁 構成 箏 I・II 時間 12分 出版楽譜 ミュージックエス

解説 我が家の居間に、以前アメリカに演奏旅行した折、買い求めた五本の太いパイプを持ったチャイムがある。時折軽く揺らしてみると、あたりの空気が一瞬に色が変わったと思えるほど、美しく澄んだ音がいっぱいに広がる。又説明書には、「このチャイムの音階はギリシャや日本の音楽に使われている」とある、エッとってパイプを一本ずつ鳴らしてみると、成程日本の都節音階、箏の平調子になっている。平調子がこんなに美しく響くとは、迂濶なことに、今まで気がつかなかった。そして私の中では平調子の美しさを再認識する意味をも含めて、この曲を作る作業が始った。1994年8月作曲。 [作曲家] 収録媒体 -